

山武支部報

千教組山武支部
情宣部
TEL 0475-82-2708

『7分1分会1テーマ』

山武支部では、年度始めに各分会で掲げた1分会1テーマ「みんなで〇〇を解決しよう。」で、最も多く掲げられていたテーマが、『多忙』でした。そこで、短期集中の特設テーマとして、『みんなで多忙感を解消しよう!』における活動内容を各分会で話し合っただけ、全分会のテーマが決まりました。各分会のとりくみを広げるためにもぜひ参考にしてください。

みんなで多忙感を解消しよう!

【芝山】

- 早く帰ってよいという雰囲気づくり（芝山小）
- 毎週木曜日は、「部活動休養日」としている。（芝山中）

【横芝光】

- 「12時間勤務におさえよう!!」と声をかけ合った。（白浜小）
- 22時には声をかけ合う。（横芝小）
- 週案の日々のメモ欄に退勤予定時刻をあらかじめ記入し、見通しを持った働き方を計画。○×△で結果を反省する。（東陽小）
- 「みんなでごはん（5時半）を食べよう。」→月1で5時半までに退勤し、家で食ったり、若手で食べに行ったりを実行する。（日吉小）
- “今日は何時までに帰る?”と声かけをするようにした。退勤時間を確認することでなるべく早く退勤するようになった。（南条小）
- ノー残業デーに声をかけ合って早く帰る。（カレンダーにシールを貼る。）10分早く帰る努力をする。（上堺小）
- 週に1度早く帰宅する日を決め、（4月から）自己申告制という形で黒板に貼っている。（大総小）
- 勤務時間後、お菓子を配ったりして、仕事の息抜きにしている。疲れている人や困っている人がいたら、優しく声をかけるようにしている。（横芝中）
- 熱帯魚を観察（エビを探そう）し、話が盛り上がった。（光中）



【山武】

- 部活がない時は、早めに帰ろうと呼びかけた。（南郷小）
- ノー残業デーを設定し、毎週木曜日に実施。部活動の朝練は、引き続きやらない。（大平小）
- プレミアムデー（定時退勤日：木曜日）の設定（成東小）
- 運動会や部活、各学年の校外学習（宿泊を含む）の準備等、それぞれが多忙であったため、集まって話したり、何かにとりくんだりする時間は取らなかった。（鳴浜小）
- 職場で最後、1人にならないように声かけをしている。（緑海小）
- いつもより少し早い退勤時間（5分でも早く）で退勤した。（豊岡小）
- 職員室後方のスペースにイスとテーブルを置き、そこに飲み物等を用意することで少しの時間でもリフレッシュする。（山武西小）
- 「みんなでできる仕事」をあげて、全員そろって業務にとりくむ。（山武北小）
- 放課後、短時間ではあるが、職員でレクリエーション（ソフトバレーボール等）を行い気分をリフレッシュさせた。（蓮沼小）
- 1日でもいい!全員19:00までには退勤する!!（睦岡小）
- 退勤目標時間を決めた。（日向小）
- 毎週木曜日をノー残業デーとし、職員室前方黒板や週報に表示し、教職員の意識を高める。（大富小）
- カレンダーに早く帰宅する日にシールを貼った。（目標）時間を意識して仕事にとりくんだ。（松尾小）
- 行事の準備等で、自分の役割分担が完了したら、他の未完了の仕事を手伝った。（山武中）
- 毎月第1、第3月曜日を、部活動休止日として設定してある。（蓮沼中）
- 「ノー残業デー」の声かけをした。（山武南中）
- なるべく早く帰るように呼びかけた。（成東中）
- 有志で食事会を実施して懇親を深めた。（成東東中）
- 声をかけ合い、仕事の分担。（松尾中）



【九十九里】

- ノー残業デーの設置。出張後の直帰の奨励。（豊海小）
- マイノー残業デーの設定。（九十九里小）
- ノー残業デーの設置・声かけ。週案の提出を2週間に1回。出張や研修後の直帰の奨励。（片貝小）
- 1週間に1日は、生徒最終下校後、30分以内に帰る。（全職員）（九十九里中）

【東金】

- 早く帰ってよいという雰囲気づくり・声かけ。(鶴嶺小)
- 起床後12時間での帰宅を促した。(城西小)
- 毎週水曜日は、ノー残業デーとし、早めに帰宅する。
事前に企画委員会の資料を全職員に回覧し会議時間の短縮を図る。(豊成小)
- みんなでちょっとお茶しよう！木曜日の研修のあとお茶会した。(福岡小)
- 9/20の職員会議から、パソコンの画面で提案資料を見ることにした。(丘山小)
- 毎日、19:30までに、退勤しよう。(日吉台小)
- 会議や打合せの後に、「おつかれ～！」と言って、茶話会をして、「今日は早く帰ろう。」と話し合った。(正気小)
- 事前に日を決め、その日は何があっても16:30退勤。(源小)
- お互いにコミュニケーションを取り、仕事を手伝ったり、「早く帰りましょう。」と声をかけ合った。(東金中)
- 食事会を開き、親睦を深めた。(東金・東中)
- 学年単位で動くことが多いので、各学年で早く帰れる日には、交代して帰ろう。(東金・北中)
- 職場の人間がお互いにわかり合うことから始めた。個々の教育観について理解した。(東金・西中)
- モラルアップ委員会で、金曜日をコミュニケーションデーとし、18:30退勤をめざしている。(東金・東小)



【大網白里】

- ノー残業デーの設置(月数回)→行事黒板のその日に印をつける。(大網小)
- 水曜日を「プレミアムウェンズデー」と名付け、20時までに帰るよう学校全体でとりくんでいる。(瑞穂小)
- 金曜日は、8時までに帰宅しよう。(季美の森小)
- 資源回収の際には、手伝いに出る職員を2グループに分け、学校内の作業と外での資源回収の仕事を分担した。(大網東小)
- 毎週木曜日はノー残業デーとし、体力向上部を設けて、できる人たちでスポーツをして汗を流している。(増穂北小)
- ノー残業デーの毎週実施。(増穂小)
- お互いに声をかけ合い、協力して仕事をしたり、早く帰れるよう声をかけたりした。(白里小)
- 業務を精選して無駄をなくした。仕事を終わらせる時刻を決めて終わらせる。
職員会議資料をパソコンで提案予定。(白里中)
- 職員室での、「早く帰りましょう。」という声かけ。(大網中)
- 9月訪問後、10月合唱コンクール後に慰労会。木曜日は、部活動もないので、早めに退勤。(増穂中)

